

平成29年10月27日(金)

台風第21号の降雨に伴う^{やぎさわ}矢木沢ダム・^{ならまた}奈良俣ダム・^{ふじわら}藤原ダム
^{ほうさいそうさ}による防災操作(洪水調節)について

利根川上流に位置する矢木沢ダム、奈良俣ダム、藤原ダム3ダムでは、台風21号に伴う降雨により増加した河川の水をダムに貯め込むことで、下流河川の水位の低減を図りました。

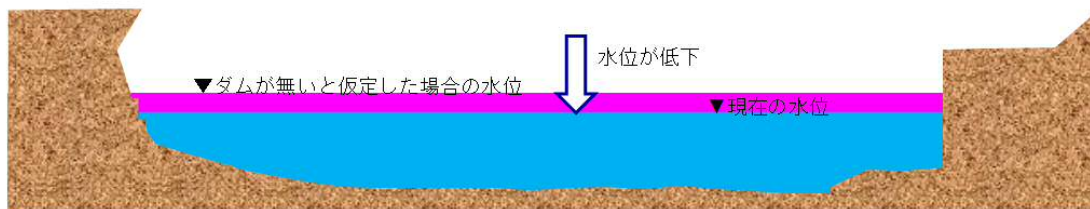
今回の台風21号では大雨が予測され、矢木沢ダム、奈良俣ダムでは貯水位が低下した状態であったことから、この2ダムを中心に貯め込み操作を行い、藤原ダムでは、上流2ダムの防災操作状況及び下流河川の流況監視しながら、必要な洪水調節容量の確保に努めました。

これにより、下流の群馬県みなかみ町湯原地点の河川の水位を約1.3m(推定)低下させることができました。

	矢木沢ダム	奈良俣ダム	藤原ダム
流域総雨量	184 ミリ (10/21 23:00～10/24 1:00)	141 ミリ (10/20 23:00～10/23 24:00)	164 ミリ (10/20 19:00～10/24 1:00)
最大流入量	317 立方 ^{メー} トル (10/23 5:10)	137 立方 ^{メー} トル (10/23 5:50)	204 立方 ^{メー} トル (10/23 11:30)
最大放流量	42 立方 ^{メー} トル	0 立方 ^{メー} トル	213 立方 ^{メー} トル
ダムの貯留量	979万立方 ^{メー} トル	151万立方 ^{メー} トル	— 立方 ^{メー} トル



矢木沢ダム、奈良俣ダム、藤原ダムで貯留することにより、下流の湯原地点の水位は、ダムが無いと仮定した場合の水位と比較して、約1.3m水位を低下させた想定されます。



ダム群により想定される水位の低減（湯原地点）

利根川 湯原地点（水位低下イメージ）

※「ダムが無いと仮定した場合の水位」は、各ダム地点の貯留量の合計を ダム下流の利根川湯原地先の水位低減量に換算しています。

※図はダム等の状況を説明するため模式的に表現したものであり、実際の状況とは異なります。

※平成29年10月23日現在の速報値であり、数値等は今後変わることがあります。